資料3

柏市
KASHIWA CITY

柏市総合計画審議会

第5回審議会

令和６年６月２５日
企画部経営戦略課

目次

１．第４回審議会の振り返りと会議を踏まえた全体構造案
２．基本構想における将来の姿，基本的な目標

基本構想

３．基本的な目標と重点テーマの位置付け
４．本日の流れと討議内容
５．重点テーマの望ましい要素と総合計画に書き込む内容
６．本日の作業イメージ
７．書面意見照会で出された意見（重点テーマに関するもののみ抜粋）

基本計画

目次

１．第４回審議会の振り返りと会議を踏まえた全体構造案
２．基本構想における将来の姿，基本的な目標

基本構想

３．基本的な目標と重点テーマの位置付け
４．本日の流れと討議内容
５．重点テーマの望ましい要素と総合計画に書き込む内容
６．本日の作業イメージ
７．書面意見照会で出された意見（重点テーマに関するもののみ抜粋）

基本計画

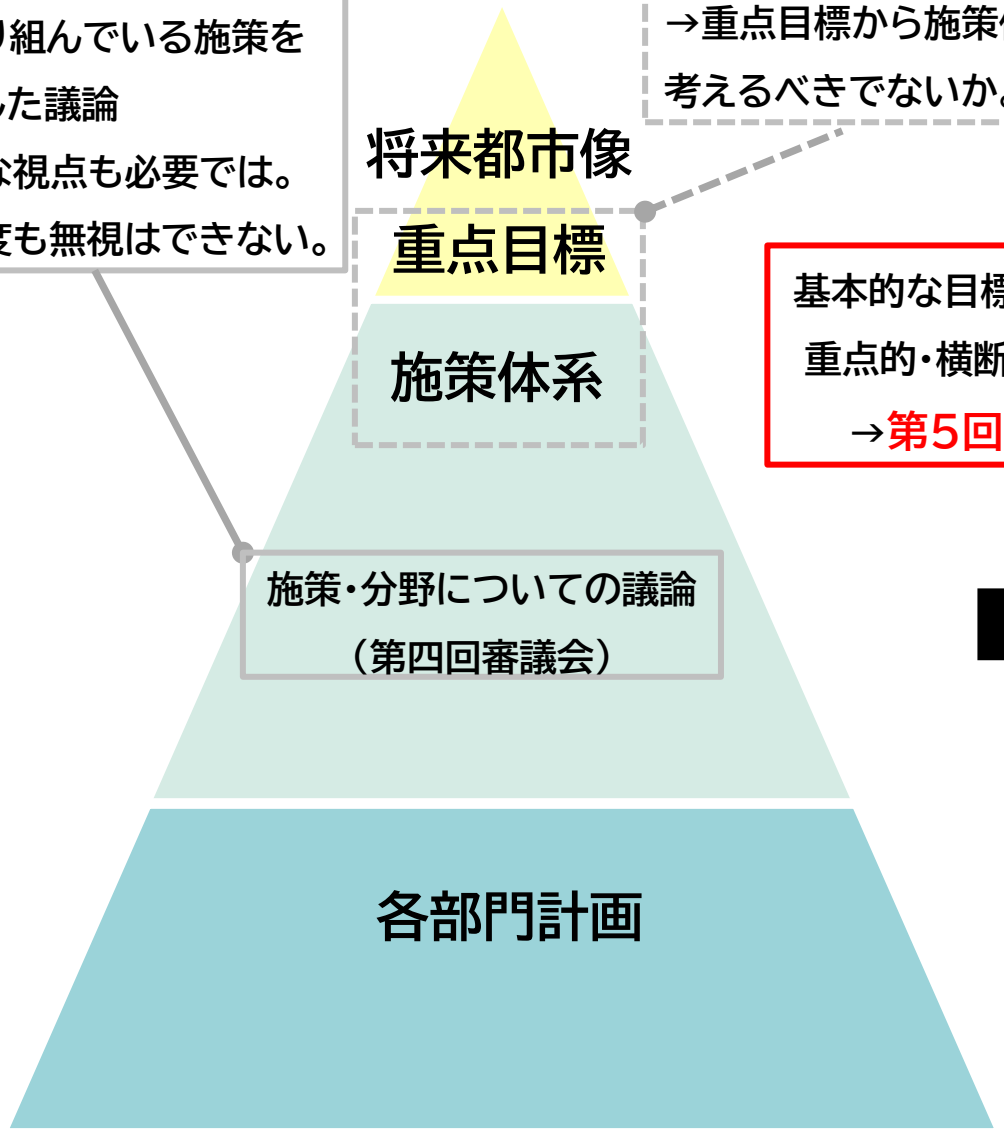
1．第４回審議会の振り返りと会議を踏まえた全体構造案

柏市 KASHIWA CITY つづくを、つなぐ。

before

市が取り組んでいる施策を中心とした議論
→新たな視点も必要では。
→法制度も無視はできない。

重点目標と分野別方針の関連性がわかりづらい。
→重点目標から施策体系を考えるべきでないか。

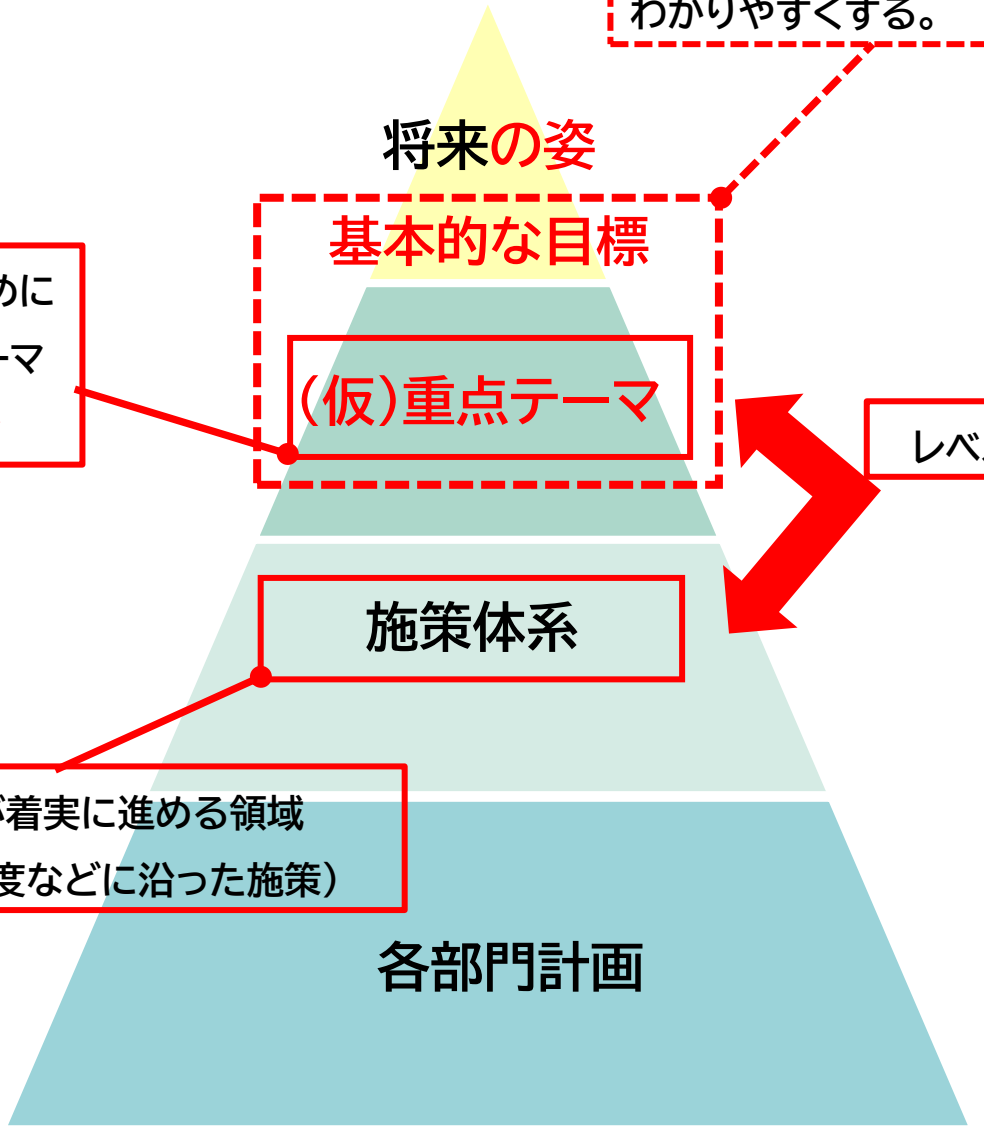


施策・分野についての議論
（第四回審議会）

after

基本的な目標から重点テーマを考えることで，つながりをわかりやすくする。

基本的な目標を達成するために重点的・横断的に取組むテーマ
→第5回審議会の議論



レベル分け

市が着実に進める領域
（法制度などに沿った施策）

2. 基本構想における将来の姿，基本的な目標

柏市 KASHIWA CITY つづくを、つなぐ。

基本構想

将来の姿

柏に関わる一人ひとりが自分の理想をカタチにできるまち

基本的な目標

基本的な目標①
もっと，居心地のよいまちへ

こども，若者，子育て世帯，高齢者など，多様な存在をつなぐことで，コミュニティの存在が強く感じられ，今も未来も，柏に住む，働く，学ぶ，憩う，遊びに来る，誰もがいきいきと，安心して過ごせるまちを目指します。

基本的な目標②
もっと，地域の個性が輝くまちへ

都心へのアクセスのしやすさや，市内で生活が完結する利便性と，豊かな自然が感じられる手賀沼をはじめとする自然環境が融合した柏で，独自の資産をつなぎあわせ，多様な主体との連携により，文化や歴史，資産に磨きをかけるまちを目指します。

基本的な目標③
もっと，創造的なまちへ

国際化・情報化が進み，多様なニーズが生まれる今日において，教育，医療，商業などの機能，多様な人やものが柏に集まり，相互に融合・結節することで，課題解決につながる，新しい価値を生み出すチャレンジを応援し，日本をリードするまちを目指します。

詳細な表現は基本計画を受けて変更することも想定し，次回以降の議論としたい

目次

柏市 KASHIWA CITY つづくを、つなぐ。

1. 第４回審議会の振り返りと会議を踏まえた全体構造案
2. 基本構想における将来の姿，基本的な目標

基本構想

3. 基本的な目標と重点テーマの位置付け
4. 本日の流れと討議内容
5. 重点テーマの望ましい要素と総合計画に書き込む内容
6. 本日の作業イメージ
7. 書面意見照会で出された意見（重点テーマに関するもののみ抜粋）

基本計画

3. 基本的な目標と重点テーマの位置付け

柏市 KASHIWA CITY つづくを、つなぐ。

基本構想

≪将来の姿≫　柏に関わる一人ひとりが自分の理想をカタチにできるまち

≪基本的な目標≫
- もっと，居心地のよいまちへ
- もっと，地域の個性が輝くまちへ
- もっと，創造的なまちへ

・既に市が行っている施策から検討するのではなく，上位概念の「基本的な目標」から「重点テーマ」を検討する。

基本計画

【重点テーマ】重点化・横断化を特に推進するテーマ

基本的な目標を達成するために重点的・横断的に取り組むべきテーマとは何か，をご議論をいただき，「基本的な目標」と「基本計画」のつながりを整理したいと考えております。

→グループ討議で付箋等を用いてワーク形式で検討を実施

【施策体系】将来の姿に向けた基本的な手段となりうるもの（取り組みや事業の束）

- 法律・制度に基づき，着実に展開すべき基本的な施策は，裁量の余地が少ないため，カタログ的に施策を紹介する形で対応し，ご関心・ご知見があるものについて，各委員からご意見をいただく形としたい。

【施策体系】については，既に市が行っている事業・取組を着実に進めるものが中心であり，「重点テーマ」と差をつける。

4. 本日の流れと討議内容

柏市 KASHIWA CITY つづくを、つなぐ。

≪本日の流れ≫

１０分
個人ワーク
→
６０分
グループ討議
→
３０分
全体発表など

- 第５回審議会では「重点テーマ」についてご議論をいただきます。
- まず，個人でアイデアを出していただくワークを行い，次に付箋を用いたグループ討議を行います。

≪グループ討議で議論いただく内容≫

- 「重点テーマ」を選定する理由
（なぜそのテーマが基本的な目標の達成に寄与すると考えたのか）
- 「重点テーマ」の関連施策として，どのような施策が考えられるか。

※これらを主語・述語・目的語などを用いて，グループごとに文章化いただきたく存じます。

※文章化にあたっては，現状の課題を踏まえて取りまとめていきたいと考えます。

5.重点テーマの望ましい要素と総合計画に書き込む内容

柏市 KASHIWA CITY つづくを、つなぐ。

≪重点テーマの望ましい要素≫

- 「基本的な目標」を達成するために，特に優先的に取り組むべきテーマ
- 柏というまちの強みや特性を生かして取り組むテーマ
- 単一の施策にとどまらず，横断的な取り組みが必要となるようなテーマ
- 行政だけでなく，市民や民間企業，大学などと共に創りあげるようなテーマ

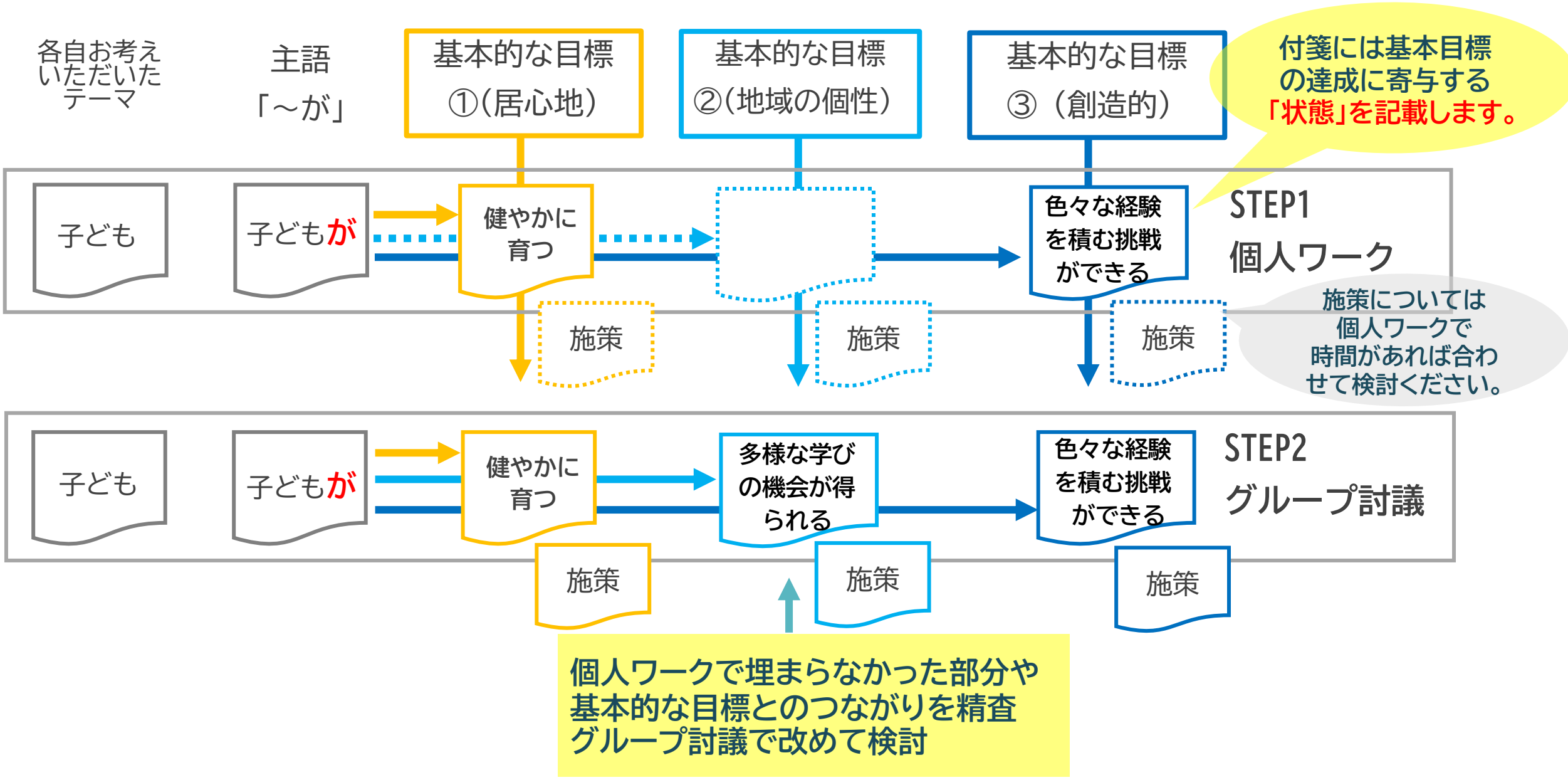
意識していただけると有難いです。

≪総合計画に書き込む内容（計画書でのアウトプットの想定）≫

- 他のテーマに先んじてこのテーマを選定する理由は？
- その背景や課題はどんなことが想定されるか？
- どんなことに取り組むのか？その方向性は？
- 行政以外に取り組む主体がある場合，その主体はどのような役割を担うのか？
- 市がもつポテンシャルは？

意識していただけると有難いです。

6.本日の作業イメージ


各自お考えいただいたテーマ
主語「～が」
基本的な目標①（居心地）
基本的な目標②（地域の個性）
基本的な目標③（創造的）
付箋には基本目標の達成に寄与する「状態」を記載します。
子ども
子どもが
健やかに育つ
色々な経験を積む挑戦ができる
STEP1
個人ワーク
施策
施策
施策
施策については個人ワークで時間があれば合わせて検討ください。
子ども
子どもが
健やかに育つ
多様な学びの機会が得られる
色々な経験を積む挑戦ができる
STEP2
グループ討議
施策
施策
施策
個人ワークで埋まらなかった部分や基本的な目標とのつながりを精査
グループ討議で改めて検討

7. 書面意見照会で出された意見（重点テーマに関するもののみ抜粋）

柏市 KASHIWA CITY つづくを、つなぐ。

書面意見照会でいただいた意見
・ソフト面、ハード面に分けて要素を出してはどうか。
・第三回資料の重点プロジェクトを重点テーマで議論することでよいか？
・重点テーマの要素：自然、農業、生態系、文化 ・目標的な言葉：地産地消、ゼロカーボン、自然災害へのレジリエンス、気候変動への対応、エネルギーの確保 ・重きをおくエリア：沼南地域
〇子どもに関するテーマ ・子どもといっても、いわゆる少子化対策や子育て施策を重点テーマに位置付けるのは少し異なるように感じる。重点テーマであれば、これまでのいわゆる「子どもの施策」に捉われず、行政が進める他の施策との連動や連携を意識すべきだと考える。 ・例えば、一見すると関係が薄い高齢者も、多くの職業経験などのこれまでの体験があれば、地域で親子との交流の可能性があり、それらを仕組み化することで創造的（先進的）な取組になりうるのではないか。通り一遍の子ども施策だけではなく、少し横串を刺したあり方を考えてみてもよいのではないか。 〇健康に関するテーマ ・健康に関するテーマも、単なる健康というよりも、例えば最近、子どもの身体の変化として、目の悪い子が増えている。これはスマートフォンの利用時間増加の影響によるものと推定されるが、これらは幼少期からの教育が重要。高齢化社会を見据えれば、幼少期からの健康に関する教育を行うことで、「子育て⇔健康」の横ぐしをさせるのではないか。複数の施策が絡んでこそ、重点テーマになりうるのではないかと思う。

7. 書面意見照会で出された意見（重点テーマに関するもののみ抜粋）

書面意見照会でいただいた意見

【居心地のよいまち】
＜災害対策＞
地域単位の災害対応（町会自治会、自主防災組織）だけでなく、課題単位の災害対応
障害者、高齢者、こども、外国人、女性・ジェンダー
被災家屋、避難所、在宅避難・車中泊等、遠隔地避
難、応急仮設住宅、生業（市内の農業、商業、製造業）
※必要な受援体制と担い手の育成（柏市内・外部からの支援）

＜居心地のいい居場所＞
喫緊の課題としてこども・若者の居場所づくり （サードプレイス）
国の施策と連動して動くことができる組織づくり
こども・若者の主体性を尊重した地域参加 ← こども・若者に限らない

【地域の個性が輝くまち】
＜地域の歴史・文化、自然環境・景観の尊重＞
全世代を通して地域を学ぶ機会・場所の圧倒的な不足
こども→学校で地域を教えることができる教員不足
おとな→誰でも学ぶことができる場の欠落

＜地域の歴史・文化、自然環境・景観に関するアーカイブ機能と専門組織＞
（アーカイブに関しては図書館が少しずつ取り組みつつあるが限界がある）
多様な地域性を活かすための地域の多様な主体が参加する地域ビジョンづくり
例：柏駅周辺にはそごう柏店の解体など新たなまちづくりの重要な転換期にあるにも関わらず、多様な市民が参加してこれからのまちづくりを議論する場がなく、当事者意識を持てない

7. 書面意見照会で出された意見（重点テーマに関するもののみ抜粋）

柏市 KASHIWA CITY つづくを、つなぐ。

書面意見照会でいただいた意見

【創造的なまち】
例：集落を単位としたコミュニティの中心である寺社に注目し、寺社を中心にした谷津の自然と景観の保全、及びこれからの社会の変化に対応した持続的なコミュニティづくり
放棄水田が増えている
・かつての谷津田、里山の原風景をかろうじて残すものの、水田の放棄、斜面林の放置
　→残土・産廃・資材置き場化し、生物多様性の保全と自然豊かな景観が損なわれる
　　誰も見向きもしない場所のできあがり
・耕作を行わなくなった農地所有者は自分で耕作しなくなった土地に対する愛着を持たなくなった
　→お荷物でしかない土地を手放す、農地は不在地主の投機対象としての価値のみ
・従来の地主もその地域から離れる
　コミュニティの消失

＜対策として＞
放棄水田・畑の耕作、放棄斜面林の整備を市民参加型のトラスト事業として、市民主体で実施。かつて集落のコミュニティの中心であった寺社施設を活用して事業化。 観光、関係人口の増加へ寄与
・こどもの自然・農業体験の場として活用
・谷津田のある里山景観の維持、生物多様性保全への寄与
・地域に関わる市民がその地域を中心に新たなコミュニティの構成員となる
　→新たなコミュニティの創出、その地域の歴史文化を継承する担い手が残る
〇関連する分野
　みどり・自然、観光、農業、福祉、健康増進、生涯学習、エリアデザイン、こどもの体験（主体的な活動の場づくり）、子育て、教育、高齢者の生きがい活動、共生社会、防犯、防災、文化

7. 書面意見照会で出された意見（重点テーマに関するもののみ抜粋）

書面意見照会でいただいた意見
○産業、創業支援 ・重点テーマを検討するにあたっては、「基本的な目標」との関連付けを意識しながら、それぞれにどうつながるのかを考えるのがよい。 ・単に商工会議所と連携しながら、地元産業を育成するというよりは、駅前の再開発なども見据えながら、どのように新規開業を促すのか、そのような取組を考えてみてはどうか。 ・柏の葉キャンパスや流山おおたかの森はどちらかというと人工的な街並みのイメージが強く、ナショナルチェーンのお店も多いが、柏駅前は少し様相が異なるようにも思っている。 ・このような柏駅らしさみたいなものと、大型の再開発事業をうまく、連動させながら、重点テーマを検討していけるとよいように感じている。
・「重点テーマ」の要素について取り上げていただきたいことは「防災」。 ・防災は基本的な目標①の「居心地のよいまち」にマッチし、かつ最も重要な公共施策のひとつ。 ・顕在化した気候変動の中での今後の自然災害は未曽有の災害となり得て、インフラ拡張での短期的な対応は限界があり、市民の意識改革や準備の啓発を同時に行うことが重要（例えば災害時のライフハックの共有は費用対効果が極めて高い準備であること、脱炭素の観点でEVを増やすことは自立電源の確保や共有にも役立つこと等）